

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	無期限 (2009年12月30日設定)	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要投資対象	東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)	「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	日系発行体(日本企業もしくはその子会社、日本の政府機関等)が世界で発行する外貨建ての債券等を主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
	東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
配分方針	収益分配にあたっては、原則として、毎決算時に利子等収益を中心に継続的に安定した分配を行うことを目指します。また、6月と12月の決算時においては、原則として利子等収益に売買益(評価益を含みます。)を付加した額から分配を行う場合があります。収益分配金額は、基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、配分対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

## 東京海上・ニッポン 世界債券ファンド (為替ヘッジあり)

### 運用報告書(全体版)

第173期	(決算日	2024年6月20日)
第174期	(決算日	2024年7月22日)
第175期	(決算日	2024年8月20日)
第176期	(決算日	2024年9月20日)
第177期	(決算日	2024年10月21日)
第178期	(決算日	2024年11月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)」は、このたび、第178期の決算を行いましたので、第173期～第178期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。  
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落			
	円		円	期 騰 落	%	%	百万円
149期(2022年6月20日)	7,375		10		△2.0	98.8	45,749
150期(2022年7月20日)	7,402		10		0.5	98.0	45,228
151期(2022年8月22日)	7,441		10		0.7	97.9	44,912
152期(2022年9月20日)	7,247		10		△2.5	99.3	43,435
153期(2022年10月20日)	6,995		10		△3.3	101.5	41,675
154期(2022年11月21日)	7,090		10		1.5	94.1	41,997
155期(2022年12月20日)	7,169		10		1.3	94.6	41,915
156期(2023年1月20日)	7,213		10		0.8	93.5	42,028
157期(2023年2月20日)	7,105		10		△1.4	98.6	41,126
158期(2023年3月20日)	7,108		10		0.2	96.2	40,744
159期(2023年4月20日)	7,092		10		△0.1	98.7	40,790
160期(2023年5月22日)	7,085		10		0.0	99.9	40,533
161期(2023年6月20日)	7,002		10		△1.0	100.4	39,748
162期(2023年7月20日)	6,991		10		△0.0	97.5	39,285
163期(2023年8月21日)	6,911		10		△1.0	100.1	38,556
164期(2023年9月20日)	6,878		10		△0.3	99.3	37,946
165期(2023年10月20日)	6,769		10		△1.4	99.3	37,020
166期(2023年11月20日)	6,847		10		1.3	98.4	37,072
167期(2023年12月20日)	6,953		10		1.7	97.0	37,236
168期(2024年1月22日)	6,910		10		△0.5	100.7	36,784
169期(2024年2月20日)	6,869		10		△0.4	99.4	36,126
170期(2024年3月21日)	6,863		10		0.1	100.5	35,198
171期(2024年4月22日)	6,780		10		△1.1	99.5	34,257
172期(2024年5月20日)	6,810		10		0.6	98.5	33,945
173期(2024年6月20日)	6,816		10		0.2	99.3	33,654
174期(2024年7月22日)	6,826		10		0.3	96.5	33,310
175期(2024年8月20日)	6,879		10		0.9	93.7	32,893
176期(2024年9月20日)	6,923		10		0.8	96.3	32,831
177期(2024年10月21日)	6,842		10		△1.0	99.4	31,790
178期(2024年11月20日)	6,761		10		△1.0	98.3	30,787

(注) 標準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第173期	(期 首) 2024年 5月20日	円		%	%
		6,810		—	98.5
	5月末	6,782		△0.4	98.7
第174期	(期 末) 2024年 6月20日	6,826		0.2	99.3
	(期 首) 2024年 6月20日	6,816		—	99.3
	6月末	6,794		△0.3	99.3
第175期	(期 末) 2024年 7月22日	6,836		0.3	96.5
	(期 首) 2024年 7月22日	6,826		—	96.5
	7月末	6,841		0.2	94.0
第176期	(期 末) 2024年 8月20日	6,889		0.9	93.7
	(期 首) 2024年 8月20日	6,879		—	93.7
	8月末	6,889		0.1	94.7
第177期	(期 末) 2024年 9月20日	6,933		0.8	96.3
	(期 首) 2024年 9月20日	6,923		—	96.3
	9月末	6,918		△0.1	96.5
第178期	(期 末) 2024年10月21日	6,852		△1.0	99.4
	(期 首) 2024年10月21日	6,842		—	99.4
	10月末	6,790		△0.8	101.0
第178期	(期 末) 2024年11月20日	6,771		△1.0	98.3

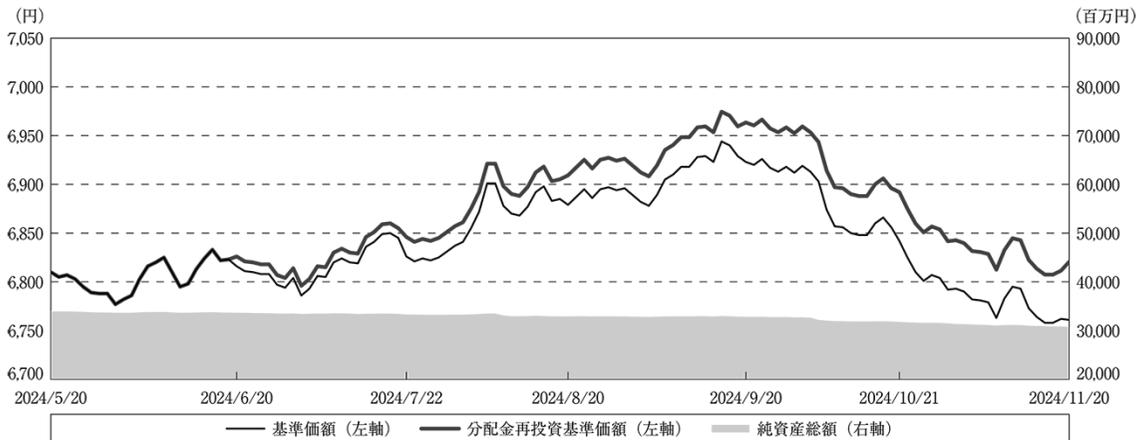
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

## ○運用経過

(2024年5月21日～2024年11月20日)

## ■作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・保有する債券の利息収入
- ・欧米中央銀行の利下げを背景とした世界的な国債利回りの低下(債券価格の上昇)
- ・堅調な米国経済を背景とした社債スプレッド(社債と国債の利回り格差)の縮小

## マイナス要因

- ・作成期中の軟調な米国雇用統計を受けた景気後退懸念の高まりによる一時的な社債スプレッドの拡大
- ・為替ヘッジなどのコスト

## ■投資環境

### 【外国債券市場】

米国債利回りは低下しました。景気や雇用に鈍化の兆候が見られ、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げを実施すると期待を受けて、米国債利回りは作成期半ばにかけて低下しました。その後作成期末にかけては、堅調な経済指標を背景に追加利下げに対する過度な期待が剥落したことや米国の財政拡張が意識されるなか、米国債利回りは上昇しました。

ドイツ国債利回りは低下しました。欧州域内の物価や景気指標に減速感が見られたことにより、ECB（欧州中央銀行）が利下げ姿勢に転換したことから、ドイツ国債利回りは低下しました。

オーストラリア国債利回りは上昇しました。欧米の国債利回りに連動して低下する局面もありましたが、RBA（オーストラリア準備銀行）が域内の根強い物価上昇圧力への警戒から政策金利を高水準で据え置くと、オーストラリア国債利回りは上昇しました。

### 【日系外貨建社債市場】

グローバルの社債スプレッドは縮小しました。米国雇用統計の悪化を背景とした景気後退懸念などから市場のボラティリティ（変動性）が上昇する局面で一時的にスプレッドの拡大が進みましたが、その後、米国の堅調な経済指標への好感や、FRBによる利下げが米国経済を下支えするとの期待から、スプレッドは縮小傾向に転じました。

当ファンドが実質的に投資対象とする日系外貨建社債についても、同様の動きとなりました。

## ■ポートフォリオについて

### <東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)>

「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの運用方針に基づき、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、0.2%上昇しました。

### <東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド>

#### 【日系外貨建社債の組み入れについて】

作成期間を通じて、日系外貨建社債の組入比率は、おおむね90%超を維持しました。

組入セクターは、金融機関、自動車や商社などの業種分散に留意しました。

#### 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれおおむね1/3ずつ投資しました（債券の保有比率は、作成期間を通じて北米通貨圏が90%程度となっていますが、通貨の配分がおおむね1/3ずつとなるように為替予約取引を利用して調整しました）。

#### 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内になるようオペレーションを行いました。

#### 【運用結果】

以上の運用の結果、基準価額は0.8%上昇しました。

## ■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

## ■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

## ◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日	2024年7月23日～ 2024年8月20日	2024年8月21日～ 2024年9月20日	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.146%	10 0.146%	10 0.145%	10 0.144%	10 0.146%	10 0.148%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	149	155	161	169	174	179

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)>

「東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

当ファンドの運用方針に基づき、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### <東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド>

#### 【日系外貨建社債の組み入れについて】

現在の比率を維持し、景気情勢や市場動向を見極めつつ、組入銘柄を柔軟に変更する方針です。

#### 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれ1/3ずつ投資する方針です。

#### 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内となるようオペレーションを行う方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年5月21日～2024年11月20日)

項 目	第173期～第178期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 42	% 0.621	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.305)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(21)	(0.305)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.011)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0 )	(0.005)	*保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.001)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.000)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	42	0.627	
作成期間の平均基準価額は、6,835円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

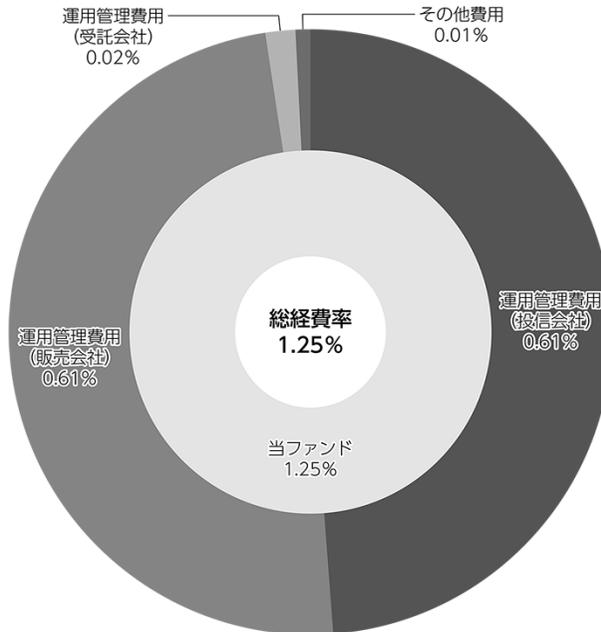
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.25%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年5月21日～2024年11月20日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第173期～第178期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	千口 1,547,881	千円 3,398,326	千口 3,163,984	千円 7,196,146

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年5月21日～2024年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第172期末	第178期末	
	口 数	口 数	評 価 額
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	千口 15,083,763	千口 13,467,660	千円 30,889,426

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月20日現在)

項 目	第178期末	
	評 価 額	比 率
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド	千円 30,889,426	% 98.7
コール・ローン等、その他	418,765	1.3
投資信託財産総額	31,308,191	100.0

(注) 東京海上・ニッポン世界債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(36,209,764千円)の投資信託財産総額(36,544,935千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=154.91円、1ユーロ=164.27円、1豪ドル=101.30円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第173期末	第174期末	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末
	2024年6月20日現在	2024年7月22日現在	2024年8月20日現在	2024年9月20日現在	2024年10月21日現在	2024年11月20日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	67,446,551,245	66,303,335,519	65,293,164,505	65,349,364,797	64,608,078,870	61,705,782,408
東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド(評価額)	33,963,328,839	32,981,672,963	33,142,169,291	33,080,349,740	32,049,530,278	30,889,426,191
未収入金	33,483,222,406	33,321,662,556	32,150,995,214	32,269,015,057	32,558,548,592	30,816,356,217
(B) 負債	33,791,764,956	32,992,997,756	32,399,774,564	32,518,352,547	32,818,021,192	30,917,845,017
未払金	33,674,808,600	32,858,311,350	32,308,501,300	32,413,549,200	32,719,906,900	30,746,084,740
未払収益分配金	49,373,781	48,796,899	47,818,700	47,421,410	46,465,119	45,539,885
未払解約金	32,194,921	49,641,833	10,943,407	22,896,339	17,771,510	94,513,147
未払信託報酬	35,331,761	36,189,978	32,458,870	34,429,705	33,821,770	31,653,155
その他未払費用	55,893	57,696	52,287	55,893	55,893	54,090
(C) 純資産総額(A-B)	33,654,786,289	33,310,337,763	32,893,389,941	32,831,012,250	31,790,057,678	30,787,937,391
元本	49,373,781,455	48,796,899,054	47,818,700,670	47,421,410,578	46,465,119,052	45,539,885,115
次期繰越損益金	△15,718,995,166	△15,486,561,291	△14,925,310,729	△14,590,398,328	△14,675,061,374	△14,751,947,724
(D) 受益権総口数	49,373,781,455口	48,796,899,054口	47,818,700,670口	47,421,410,578口	46,465,119,052口	45,539,885,115口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,816円	6,826円	6,879円	6,923円	6,842円	6,761円

(注) 当ファンドの第173期首元本額は49,850,300,304円、第173～178期中追加設定元本額は234,105,970円、第173～178期中一部解約元本額は4,544,521,159円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況

項 目	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日	2024年7月23日～ 2024年8月20日	2024年8月21日～ 2024年9月20日	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	118,227,057	133,831,773	331,071,892	292,771,160	△ 298,471,412	△ 291,732,322
売買益	894,505,263	925,560,037	2,793,767,196	1,239,649,519	1,205,327,541	773,402,873
売買損	△ 776,278,206	△ 791,728,264	△ 2,462,695,304	△ 946,878,359	△ 1,503,798,953	△ 1,065,135,195
(B) 信託報酬等	△ 35,396,654	△ 36,247,674	△ 32,562,097	△ 34,500,598	△ 33,889,663	△ 31,728,245
(C) 当期損益金(A+B)	82,830,403	97,584,099	298,545,795	258,270,562	△ 332,361,075	△ 323,460,567
(D) 前期繰越損益金	△11,006,232,584	△10,837,105,596	△10,562,837,394	△10,215,669,421	△ 9,795,733,511	△ 9,963,955,109
(E) 追加信託差損益金	△ 4,746,219,204	△ 4,698,242,895	△ 4,613,200,430	△ 4,585,578,059	△ 4,500,501,669	△ 4,418,992,163
(配当等相当額)	( 25,060,813)	( 25,284,658)	( 25,431,824)	( 26,035,356)	( 26,120,116)	( 26,251,627)
(売買損益相当額)	(△ 4,771,280,017)	(△ 4,723,527,553)	(△ 4,638,632,254)	(△ 4,611,613,415)	(△ 4,526,621,785)	(△ 4,445,243,790)
(F) 計(C+D+E)	△15,669,621,385	△15,437,764,392	△14,877,492,029	△14,542,976,918	△14,628,596,255	△14,706,407,839
(G) 収益分配金	△ 49,373,781	△ 48,796,899	△ 47,818,700	△ 47,421,410	△ 46,465,119	△ 45,539,885
次期繰越損益金(F+G)	△15,718,995,166	△15,486,561,291	△14,925,310,729	△14,590,398,328	△14,675,061,374	△14,751,947,724
追加信託差損益金	△ 4,746,219,204	△ 4,698,242,895	△ 4,613,200,430	△ 4,585,578,059	△ 4,500,501,669	△ 4,418,992,163
(配当等相当額)	( 25,093,056)	( 25,314,080)	( 25,466,324)	( 26,075,290)	( 26,155,363)	( 26,289,848)
(売買損益相当額)	(△ 4,771,312,260)	(△ 4,723,556,975)	(△ 4,638,666,754)	(△ 4,611,653,349)	(△ 4,526,657,032)	(△ 4,445,282,011)
分配準備積立金	712,705,784	731,700,339	747,938,640	777,822,912	784,156,310	792,764,745
繰越損益金	△11,685,481,746	△11,520,018,735	△11,060,048,939	△10,782,643,181	△10,958,716,015	△11,125,720,306

(注) (A) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
	2024年5月21日～ 2024年6月20日	2024年6月21日～ 2024年7月22日	2024年7月23日～ 2024年8月20日	2024年8月21日～ 2024年9月20日	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日
a. 配当等収益(費用控除後)	72,650,878円	76,603,535円	79,349,888円	84,300,550円	69,053,929円	70,379,678円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	25,093,056円	25,314,080円	25,466,324円	26,075,290円	26,155,363円	26,289,848円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	689,428,687円	703,893,703円	716,407,452円	740,943,772円	761,567,500円	767,924,952円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	787,172,621円	805,811,318円	821,223,664円	851,319,612円	856,776,792円	864,594,478円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	159円	165円	171円	179円	184円	189円
g. 分配金	49,373,781円	48,796,899円	47,818,700円	47,421,410円	46,465,119円	45,539,885円
h. 分配金(1万円当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

## ○分配金のお知らせ

	第173期	第174期	第175期	第176期	第177期	第178期
1万円当たり分配金(税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 東京海上・ニッポン世界債券マザーファンド

## 運用報告書 第16期（決算日 2024年11月20日）

（計算期間 2023年11月21日～2024年11月20日）

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%		%	百万円
12期(2020年11月20日)	16,842		5.6		97.8	77,991
13期(2021年11月22日)	18,130		7.6		100.3	62,371
14期(2022年11月21日)	18,710		3.2		96.0	46,809
15期(2023年11月20日)	20,953		12.0		97.7	43,125
16期(2024年11月20日)	22,936		9.5		98.0	35,819

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年11月20日	円		%		%
	20,953		—		97.7
11月末	20,899		△ 0.3		96.9
12月末	20,812		△ 0.7		96.1
2024年1月末	21,239		1.4		98.6
2月末	21,530		2.8		97.8
3月末	21,775		3.9		98.7
4月末	22,414		7.0		97.3
5月末	22,714		8.4		97.6
6月末	23,425		11.8		97.1
7月末	22,444		7.1		98.8
8月末	22,068		5.3		93.8
9月末	22,177		5.8		95.1
10月末	22,947		9.5		98.7
(期 末) 2024年11月20日	22,936		9.5		98.0

(注) 騰落率は期首比です。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

## ○運用経過

(2023年11月21日～2024年11月20日)

## ■期中の基準価額等の推移

期首：20,953円

期末：22,936円

騰落率： 9.5%

## ◇基準価額の主な変動要因

## プラス要因

- ・保有する債券の利息収入
- ・欧米中央銀行の利下げを背景とした世界的な国債利回りの低下（債券価格の上昇）
- ・利下げが米国経済を下支えするとの期待による社債スプレッド（社債と国債の利回り格差）の縮小
- ・堅調な米国経済などを背景とした円安の進行

## マイナス要因

- ・日銀の利上げなどによる内外金利差の縮小を受けて円高が進行する局面があったこと
- ・米国の軟調な雇用統計を受けた景気後退懸念の高まりにより、社債スプレッドが拡大した局面があったこと

## ■投資環境

## 【外国債券市場】

米国債利回りは低下しました。期初は、雇用統計やCPI（消費者物価指数）に落ち着きが見られたことを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め姿勢に後退の兆しが見え、米国債利回りは低下しました。期半ばにかけて、堅調な経済指標が確認されたことやFRB高官による早期利下げを否定する発言などから、米国債利回りはいったん上昇しましたが、その後は、景気や雇用に鈍化の兆候が見られ、FRBが利下げを実施するとの期待を受けて、再度低下基調となりました。期末にかけては、堅調な経済指標を背景に追加利下げに対する過度な期待が剥落したことや米国の財政拡張が意識され、米国債利回りは再び上昇しました。

ドイツ国債利回りは低下しました。期半ばにかけて堅調な経済指標などを背景に早期利下げ期待が後退するなか上昇する局面もありましたが、期を通しては欧州域内の物価や景気指標に減速感が見られたことにより、ECB（欧州中央銀行）が利下げ姿勢に転換したことから、ドイツ国債利回りは低下しました。

オーストラリア国債利回りはおおむね横ばいとなりました。欧米の国債利回りに連動して低下する局面もありましたが、RBA（オーストラリア準備銀行）が域内の根強い物価上昇圧力への警戒から政策金利を高水準で据え置くと、オーストラリア国債利回りは上昇しました。

## 【日系外貨建社債市場】

グローバルの社債スプレッドは縮小しました。期前半、FRBが金融引き締め姿勢を維持しましたが、米国の堅調な経済指標を受けて景気減速懸念が後退し、社債スプレッドは縮小傾向で推移しました。期後半、米国雇用統計の悪化を背景とした景気後退懸念の高まりなどから市場のボラティリティ（変動性）が上昇する局面で一時的にスプレッドの拡大が進みましたが、その後、米国の堅調な経済指標への好感や、FRBによる利下げが米国経済を下支えするとの期待から、スプレッドは再び縮小傾向に転じました。

当ファンドが実質的に投資対象とする日系外貨建社債についても、同様の動きとなりました。



## 【為替市場】

米ドル円為替レートは円安米ドル高となりました。期前半、内外金利差などを背景に円安米ドル基調で推移しました。期半ば以降、日銀による利上げの実施などを受けて円高が進行する局面もありましたが、米国経済が依然として堅調ななか、期末にかけて再び円安基調となりました。

ユーロ円および豪ドル円為替レートは円安となりました。期前半、内外金利差などを背景に円安基調で推移しました。期半ば以降、日銀による利上げの実施などを受けて円高が進行する局面もありましたが、期末にかけて米国債に連動して各国国債利回りが上昇するなかで円安が進行しました。



## ■ポートフォリオについて

## 【日系外貨建社債の組み入れについて】

期を通じて、日系外貨建社債の組入比率は、おおむね90%超を維持しました。組入セクターは、金融機関、自動車や商社などの業種分散に留意しました。

## 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれおおむね1/3ずつ投資しました（債券の保有比率は、期を通じて北米通貨圏が90%程度となっていますが、通貨の配分がおおむね1/3ずつとなるように為替予約取引を利用して調整しました）。

## 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内になるようオペレーションを行いました。

## 【運用結果】

以上の運用の結果、保有債券の価格上昇や円安の進行などがプラスに寄与し、基準価額は9.5%上昇しました。

## ○今後の運用方針

## 【日系外貨建社債の組み入れについて】

現在の比率を維持し、景気情勢や市場動向を見極めつつ、組入銘柄を柔軟に変更する方針です。

## 【通貨配分について】

運用方針に基づき、北米通貨圏、欧州通貨圏、オセアニア通貨圏にそれぞれ1/3ずつ投資する方針です。

## 【デュレーションについて】

運用方針に基づき、ポートフォリオのデュレーションが一定の範囲内となるようオペレーションを行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年11月21日～2024年11月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 2	% 0.011	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保管費用 )	(2)	(0.011)	*保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( その他 )	(0)	(0.000)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合計	2	0.011	
期中の平均基準価額は、22,037円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2023年11月21日～2024年11月20日)

## 公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	地方債証券	千米ドル —	千米ドル 2,759
		社債券(投資法人債券を含む)	81,783	117,761 (16,716)
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	その他	社債券(投資法人債券を含む)	3,482	13,952
	オーストラリア	社債券(投資法人債券を含む)	千豪ドル 4,027	千豪ドル —

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

(注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年11月21日～2024年11月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年11月20日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	208,500	201,049	31,144,625	86.9	—	43.1	31.0	12.8
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
その他	10,500	10,891	1,789,084	5.0	—	4.1	—	0.9
オーストラリア	千豪ドル	千豪ドル						
	21,000	21,287	2,156,388	6.0	—	—	6.0	—
合 計	—	—	35,090,097	98.0	—	47.2	37.0	13.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利率	額面金額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円	
普通社債券(含む投資法人債券)					
CENEXP 0.886 09/29/25	0.886	2,000	1,931	299,168	2025/9/29
CHIBAB 1.35 09/08/26	1.35	4,000	3,746	580,378	2026/9/8
CITOH 1.564 03/30/26	1.564	7,000	6,699	1,037,836	2026/3/30
HNDA 4.9 01/10/34	4.9	1,000	981	152,016	2034/1/10
JERA 3.665 04/14/27	3.665	1,000	970	150,398	2027/4/14
JERA 4.614 09/04/29	4.614	6,000	5,904	914,593	2029/9/4
MARUB 1.577 09/17/26	1.577	2,000	1,883	291,799	2026/9/17
MARUB 4.458 09/19/29	4.458	8,000	7,842	1,214,952	2029/9/19
MITCO 5 1/8 07/17/34	5.125	8,000	8,040	1,245,585	2034/7/17
MITHCC 5.807 09/12/28	5.807	3,000	3,080	477,251	2028/9/12
MITSCO 2.194 01/19/27	2.194	10,000	9,465	1,466,330	2027/1/19
MITSCO 4.4 09/12/29	4.4	2,000	1,966	304,584	2029/9/12
MITSRE 3.65 07/20/27	3.65	8,000	7,763	1,202,589	2027/7/20
MIZUHO 4.353 10/20/25	4.353	6,000	5,959	923,131	2025/10/20
MUFG 2.048 07/17/30	2.048	6,000	5,163	799,903	2030/7/17
MUFG 2.309 07/20/32	2.309	3,000	2,541	393,652	2032/7/20
MUFG 2.559 02/25/30	2.559	1,000	892	138,190	2030/2/25
MUFJLF 3.967 04/13/30	3.967	3,000	2,821	437,025	2030/4/13
MYLIFE 5.2 10/20/45	5.2	6,000	6,007	930,683	2045/10/20
MYLIFE 5.8 09/11/54	5.8	7,000	7,082	1,097,165	2054/9/11

銘 柄	当 期 末				
	利率	額面金額	評 価 額		償還年月日
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	%	千米ドル	千米ドル	千円	
普通社債券(含む投資法人債券)					
NIPDES 4.42 09/11/29	4.42	2,000	1,970	305,274	2029/9/11
NIPLIF 4.7 01/20/46	4.7	8,000	7,946	1,231,000	2046/1/20
NIPLIF 5.95 04/16/54	5.95	2,000	2,040	316,101	2054/4/16
NOMURA 1.653 07/14/26	1.653	3,000	2,840	440,056	2026/7/14
NOMURA 2.329 01/22/27	2.329	1,000	944	146,242	2027/1/22
NOMURA 5.842 01/18/28	5.842	2,000	2,045	316,886	2028/1/18
NORBK 5.094 10/16/29	5.094	4,000	4,000	619,784	2029/10/16
NTT 1.591 04/03/28	1.591	4,000	3,608	558,940	2028/4/3
NTT 5.136 07/02/31	5.136	7,000	7,050	1,092,151	2031/7/2
OLYMPU 2.143 12/08/26	2.143	3,000	2,836	439,413	2026/12/8
ORIX 3.95 01/19/27	3.95	3,500	3,432	531,663	2027/1/19
SEKIS 5.1 10/23/34	5.1	8,000	7,881	1,220,994	2034/10/23
SMBCAC 5.45 05/03/28	5.45	3,000	3,031	469,596	2028/5/3
SUMI 1.55 07/06/26	1.55	7,000	6,640	1,028,621	2026/7/6
SUMI 5.35 07/03/34	5.35	2,000	2,018	312,700	2034/7/3
SUMIBK 2.13 07/08/30	2.13	12,000	10,330	1,600,316	2030/7/8
SUMIBK 3.04 07/16/29	3.04	1,000	922	142,884	2029/7/16
SUMIFL 5.109 01/23/29	5.109	5,000	5,005	775,402	2029/1/23
SUMIFL 5.353 04/25/28	5.353	3,000	3,023	468,440	2028/4/25
SUMILF 4 09/14/77	4.0	10,000	9,696	1,502,061	2077/9/14

銘柄	当 期 末				
	利率	額面金額	評 価 額		償還年月日
		外貨建金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) 普通社債券(含む投資法人債券)	%	千米ドル	千米ドル	千円	
SUMITR 5.35 03/07/34	5.35	8,000	8,151	1,262,781	2034/3/7
SVELEV 1.8 02/10/31	1.8	3,000	2,426	375,898	2031/2/10
TACHEM 2.05 03/31/30	2.05	3,000	2,599	402,665	2030/3/31
TACHEM 5.3 07/05/34	5.3	6,000	6,023	933,109	2034/7/5
TOYAUT 3.566 03/16/28	3.566	4,000	3,837	594,397	2028/3/16
小 計				31,144,625	
(ユーロ…その他) 普通社債券(含む投資法人債券)		千ユーロ	千ユーロ		
ASABRE 1.151 09/19/25	1.151	2,000	1,973	324,111	2025/9/19
ASABRE 3.464 04/16/32	3.464	2,000	2,020	331,977	2032/4/16
MIZUHO 3.98 05/21/34	3.98	1,500	1,548	254,388	2034/5/21
MUFG 4.636 06/07/31	4.636	5,000	5,348	878,606	2031/6/7
ユ ー ロ 計				1,789,084	

銘柄	当 期 末				
	利率	額面金額	評 価 額		償還年月日
		外貨建金額	外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア) 普通社債券(含む投資法人債券)	%	千豪ドル	千豪ドル	千円	
MIZUHO 6.025 08/28/29	6.025	10,000	10,312	1,044,666	2029/8/28
ORIX 4.987 02/28/28	4.987	4,000	3,954	400,600	2028/2/28
TOYOTA 4 3/4 04/06/28	4.75	3,000	2,987	302,663	2028/4/6
TOYOTA 5.2 09/15/28	5.2	4,000	4,032	408,457	2028/9/15
小 計				2,156,388	
合 計				35,090,097	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

(注) ユーロの「その他」にはユーロ圏以外の国がユーロ建てで発行したものを記載しています。

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

(注) 永久債は、実質的な償還日を記載しています。

## ○投資信託財産の構成

(2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	35,090,097	96.0
コール・ローン等、その他	1,454,838	4.0
投資信託財産総額	36,544,935	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産(36,209,764千円)の投資信託財産総額(36,544,935千円)に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=154.91円、1ユーロ=164.27円、1豪ドル=101.30円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年11月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	76,361,786,366
コール・ローン等	963,576,445
公社債(評価額)	35,090,097,602
未収入金	39,965,549,740
未収利息	333,552,408
前払費用	9,010,171
(B) 負債	40,542,176,395
未払金	40,106,034,750
未払解約金	436,141,645
(C) 純資産総額(A-B)	35,819,609,971
元本	15,617,523,442
次期繰越損益金	20,202,086,529
(D) 受益権総口数	15,617,523,442口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,936円

(注) 当親ファンドの期首元本額は20,582,519,398円、期中追加設定元本額は2,343,381,122円、期中一部解約元本額は7,308,377,078円です。

<元本の内訳>

東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり) 13,467,660,530円

東京海上・ニッポン世界債券ファンド(為替ヘッジあり)(年1回決算型) 1,553,994,632円

東京海上・ニッポン世界債券ファンド 595,868,280円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

## ○損益の状況 (2023年11月21日～2024年11月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,463,842,064
受取利息	1,463,831,137
その他収益金	88,806
支払利息	△ 77,879
(B) 有価証券売買損益	2,357,007,890
売買益	10,416,913,173
売買損	△ 8,059,905,283
(C) 保管費用等	△ 4,384,983
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,816,464,971
(E) 前期繰越損益金	22,543,184,173
(F) 追加信託差損益金	2,742,140,720
(G) 解約差損益金	△ 8,899,703,335
(H) 計(D+E+F+G)	20,202,086,529
次期繰越損益金(H)	20,202,086,529

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) (G)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。